

中堅現職研修

本研修プログラムは時代に即応した、あるいは時代を先取りした教育理念を、建学の精神を基に再構築し実践していくことが求められる私立学校において、その原動力として中心的な役割を果たすであろう中堅教員の方にとって意義ある研修となることを願い企画いたしました。

21世紀の今日、グローバル社会が身近なものとなり、ICTや人工知能(AI)が普及する社会において学校教育も変革期を迎えています。本研修では、生徒とどう関わるかという教員にとって基本的な視点を大切に、社会や教育界、学びやご自身の変化を感じ取りながら、5つの講座を通じて、よりよい教育のためにブラッシュアップをはかります。

そして参加者同士の交流をはかる分散会等を通じて、同じ悩みや思いをわかちあえる仲間と出会い、多様な意見に触れることで視野を広げることができることも魅力の一つです。

お忙しい時期とは存じますが、この夏の2泊3日が、私学の中堅教員としてキャリアと実践を積み重ねた先生方にとって、よりよい学校づくりへの新たな vision を描くきっかけとなり、それを支える passion が必ずや醸成され、そして、私学の教員として担う mission への実践意欲と深い出会いと繋がりをもたらしますよう心より期待し、奮っての参加をお待ち申し上げます。

1. 会 期 **8月7日(水)・8日(木)・9日(金)の2泊3日(現地集合・現地解散)**
2. 会 場  **HOTEL 春日居** JR 中央本線甲府駅 参加者用送迎バスあり
住所 〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855 TEL : 0553-20-2000
HPアドレス <https://www.hotel-kasugai.com/>
3. 募集定員 **30名**<1校何名でも可>
4. 参加対象 30~40代で、教員経験が10年以上の教員の方。
5. 参加費 1名につき**45,000円**(宿泊費・食費・資料代など)
6. 日 程 8月7日(水) 10:30受付開始 11:00開会式
 8月9日(金) 16:00閉会式終了

時刻 月日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
8月7日(水)			受 付	開 会 式	エ ン カ ウ ン	昼 食	講 座 ①	分 散 会 ①		休 憩	夕 食
8月8日(木)	朝 食	講 座 ②	分 散 会 ②	昼 食		講 座 ③	分 散 会 ③		講 座 ④	休 憩	夕 食
8月9日(金)	朝 食	講 座 ⑤	分 散 会 ⑤	昼 食	分 か ち 合 い		閉 会 式	解 散			

※ 講座と分散会の間には小休憩を設けます。

7. 研修内容
- ・エンカウンター

白 髪 美由樹 (東洋女子高等学校教諭)

講座①「これからの私学に求められるキャリア教育のあり方」

児美川 孝一郎 法政大学キャリアデザイン学部教授

「職場体験、インターンシップやりました」、「やりたいことを子どもたちに考えさせて作文を書かせました」、「社会人を連れてきて生徒に話を聞かせました」。このようなイベント型の〈なんちゃってキャリア教育〉に陥ってはいませんか？

本講座では、積み上げ型とも言うべき、授業をメインに据えた学校の日常での様々な場面を通じて展開される本来のキャリア教育の考え方を学びます。新学習指導要領や、その背景にある 21 世紀型のスキルや学力との結びつきも含めてお話をいただき、従来のキャリア教育からの転換をはかる発想や、より充実させるためのヒントを得ます。

講座②「対話力と思考力を育てる」

河野 哲也 立教大学文学部教育学科教授

グローバル化の波や AI の著しい発展等を踏まえ、個人や社会の多様性を尊重しつつ他者と協働する力や、思考力・判断力・表現力等がより一層求められる社会に将来なっていくことは予想に難くありません。そして当然、私たち教員にもそれらの力と水先案内人としての力が要求されてくることになるでしょう。本講座では、対話力と思考力を育てることをテーマに、哲学対話の講演とワークショップを実施します。

中高生の哲学授業に照準を当てながら、その重要性と可能性について示唆をいただくとともに、先生方が職場においてチームアップを行う際、それぞれが持ち味をいかして貢献し合い、前に動いていけるチーム作りの参考にもなる内容です。

講座③「私学の危機管理 ～裁判例の分析を通じて～」 坂田 仰 日本女子大学教授

保護者や地域の方が、消費者権利や法的義務という視点から学校に対して様々な要求をする傾向が増してきています。加えて学校経営、教育実践への法的規制も拡大していると言えるような状況下に教育界が置かれています。そして私学は公立と違い国家賠償法の庇護下ではなく、教員個人にも法的責任が及びます。

学校を取り巻く一般社会が法的解決をより求めるようになってきているからこそ、先生方には法的観点を持ってもらうことやトラブル等に及ばないようにするための事前の備えが必要になります。最新の判例や賠償事案をご紹介します学校での危機管理の観点を醸成します。

講座④「癒やしのヨガ ～マインドフルネス～」

白髪 美由樹 東洋女子高等学校教諭

「マインドフルネス」は、日本語で“気づき”を意味し、坐禅をベースにアメリカでプログラム化され、医療や教育の現場・企業などで実践されています。心と密接な関係にある呼吸を意識し、呼吸法をマスターしていくことで、心の安定とコントロールができるようになります。ゆったりとした深い呼吸で、自律神経を整え、心も体もリフレッシュしましょう。

講座⑤「将来の私学を担う中堅現職の皆さんへ」

實吉 幹夫 東京私立中学高等学校協会副会長

東京女子学園中学高等学校理事長・校長

清水 哲雄 東京私立中学高等学校協会副会長

学校法人鷗友学園理事長

私学の将来を担う皆様の私学人としての自覚を一層高めるべく、協会の二人の副会長が、一私学の理事長・校長としてもその思いを篤く語りかけます。教育界の劇的な変化の中で、建学の精神に根差した教育をどう実践し深めていくべきかを考えます。

・分散会

講座の後、グループに分かれ約 1 時間、講座内容を踏まえたテーマについてのワークショップや意見・情報交換をすることで、より内容についての理解を深め、学校現場への実践や展開につなげます。

8. 委員 委員長 實吉 幹夫 (東京女子学園中学高等学校理事長校長)
滝口 佳津江 (田園調布雙葉中学高等学校長)
竹鼻 志乃 (豊島岡女子学園中学高等学校長)
宮川 努 (拓殖大学第一高等学校長)
加藤 晃孝 (八王子実践中学高等学校校長補佐)
白髪 美由樹 (東洋女子高等学校教諭)